

別記様式第6号

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告（平成28年度）

1 事業実施主体名 高野町（構成市町村 高野町）

1 対象地域及び実施期間

対象地域	高野町（全域）
実施期間	平成26年度～平成28年度

2 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	目標値 (H28)	実績値 (H28 実績)	達成率 (%)	備考
被害金額 (イシ・シ)	270 千円	2,168 千円	△687.6%	
被害面積 (イシ・シ)	90 a	140 a	△207.7%	

3 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理 主体	供用 開始日	利用率 稼働率	事業効果 (経営状況含む)
捕獲活動	捕獲頭数 115 頭	高野町	H26.4 ～	95.8%	イノシシ 22 頭 ニホンジカ 93 頭
防護柵設置	3,185.7m	各生産 組合	H26.4 ～	100%	防護柵延長 3,185.7m

4 事業実施主体の評価

今回目標が未達成な理由は、被害金額・面積は各農業者や関係者から被害情報を取りまとめた上で期待値を含め設定しており、過大な目標となっていることが原因と考える。今後は、適正な被害情報の収集を行い実情に応じた目標設定を行うとともに、有害鳥獣捕獲を継続して実施し個体数調整及び捕獲個体の確認等を適正に行う。

当町では、平成26年度以降は猟友会との連携強化を行い、個体管理を積極的に行っており、捕獲数は年々増加し全体的な被害防止に貢献できたと評価できる。

また、防護柵の設置による農作物の被害も防除できたと評価できる。

5 第三者の意見

今回は目標達成年度で目標達成が未達成であるが、高野町や猟友会による有害捕獲事業を継続して実施したことにより、平成27年度、平成28年度で延べ190頭と過去最大の捕獲が実現でき町内各地域において、イノシシ、ニホンジカによる農作物等の被害が大きく軽減できた。又、併せて電気柵等防護柵の設置も各農家において設置したことなども被害防除に貢献できたとと思われる。

今後も有害鳥獣の捕獲をより一層推進していただくと共に、農業者による電気柵等の防護柵設置を推進し被害軽減に努めていただきたい。

（高野町農業委員会 会長 柳 葵）